

8.6 one pi:ce

～火とともに

8月6日を伝え遺す時間～

被爆証言：鎌田 耕一さん
(塩釜市在住87歳)



日時：8月6日（土）
時間：13時30～15時30分（13時00開場）
場所：OPEN JAPAN 石巻ベース2F
住所：宮城県石巻市住吉町1-1-2
参加方法：自由参加
参加費：無料
被爆証言：鎌田 耕一さん（塩釜市在住87歳）

鎌田さんは、当時15歳で衛生兵として、広島で救援活動を行い、入市被曝されました。今は、体が不自由になりつつあり、記憶があるうちに話したいとご協力頂きました。お体の負担を考慮し、今回は施設の一室をお借りして証言を事前収録させて頂きました。

ご寄付のお願い

1口 1,000円

1口以上ご協力いただいた方には今回制作するDVDにお名前を入れさせていただきます。
3口以上ご協力いただいた方には今回制作するDVDを完成次第、お送りいたします

【振り込み先】

ゆうちょ銀行
記号18170 番号1312721
口座名 ハチロクワンナイト
他の金融機関から
店名 ハーハ（ハチイチハチ）
店番 818

71年前の8月6日、広島で何が起ったのか、当時の体験を聞いてみませんか？
8月6日に、『原爆の残り火』を灯しながら、被爆された方のお話を聞き、この日について考える時間を毎年続けていきたいと考えています。声が未来に残るように、被爆証言を映像に残す取り組みもしています。

東北は爆心地から遠いということもあり原爆について触れる機会が元々少ないと思います。実際に原爆が落とされた広島を体験された方のお話を伺うことは、被爆者の高齢化が進む今、とても貴重な機会です。皆様のご参加お待ちしております。

※当日は、原爆の火を灯しながら、鎌田さんがこの日の為に話して下さった証言映像を上映させていただきます。（後日DVDにします）ご本人はお体の負担が大きい為、会場には来られませんのでご了承下さい。

『平和の火』



1945年広島市原爆投下の年に星野村出身の故・山本達雄さんが当時広島市付近にある軍隊で、野営地による徴兵の任務についていた際に、伯父の形見として炭に移し持ち帰り、灯し続けた、福岡県八女市星野村に現存する原爆の残り火です。

<問い合わせ先>

8.6 One Pi:ce（ハチロクワンピース） 吉澤・栗原
〒986-0821 宮城県石巻市住吉町1-1-2

OPEN JAPAN内

TEL/FAX: 0225-92-7820

E-mail: info@86onenight.com

HP: <http://86onenight.seesaa.net/>